

類別:機械器具 12 理学診療用器具  
一般医療機器 一般の名称:弾性ストッキング (JMDN コード:31724000)

# ドクタースリム・T2

## 【警告】

- 適用対象(次の患者へ適用する際には、特に注意すること)
  - 急性期の深部静脈血栓症患者。  
[肺血栓塞栓症を発症するおそれがあるため。]
  - 動脈血行障害、うっ血性心不全及び装着部位に炎症や化膿、疼痛を伴う皮膚疾患、創傷のある患者。  
[圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。]
  - 装着部位に知覚障害のある患者。  
[痛み等の異常を認識できないおそれがあるため。]
  - 糖尿病患者。  
[無症状の知覚障害や血行障害を併発している場合、痛み等の異常を認識できず、また症状を悪化させるおそれがあるため。]
  - 装着部位に極度の変形を有する患者。  
[適切な圧迫圧が得られないおそれがあるため。]
  - 繊維に対して過敏性のある患者。  
[接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。]
- 使用方法
  - 医師が必要と認める場合を除き、就寝時は着用しないこと。  
[臥位になることで静脈還流等に変化が起こり、患者によっては必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。]
  - サイズ表を確認し、正しいサイズの製品を着用すること。  
[正しいサイズ及び圧迫力の選定が出来ないと、各部位に過剰及び過小な着圧がかかることになり、本品の効果が発揮されないおそれがあるため。]

## 【禁忌・禁止】

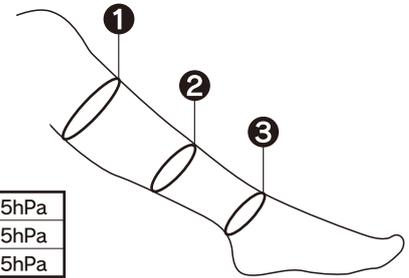
- 適用対象(次の患者には、使用しないこと)
- 重度の動脈血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。  
[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
  - 化膿性静脈炎の患者。  
[菌血症や敗血症を発症、増悪させるおそれがあるため。]
  - 医師が本品を使用することが適切でないと判断した場合。  
[使用上の有益性が危険性を上回る場合にのみ適用すること。]

## 【形状・構造及び原理等】

本品は、種々の加工法により成形された円柱状(又は筒状)をした形状である。編み上げた糸の弾力により装着部に同心性の圧迫力を加えるととも、末梢部から中枢に向かって圧迫力が漸減する構造(設計)となっている。  
なお、本品にはつま先ありタイプ及びつま先なしタイプの2種類がある。

## ■製品スペック

	ハイソックス		サポーター	
	M	L	M	L
適応サイズ				
足のサイズ	22~24cm	24~26cm		
足首まわり	20~25cm	23~28cm	20~25cm	23~28cm
ふくらはぎまわり	30~35cm	34~39cm	30~35cm	34~39cm



※

圧迫力	①	②	③
	16±5hPa	26±5hPa	35±5hPa

## 【使用目的又は効果】

末梢から中枢に向かって漸減的に圧迫を加えることにより、下肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防し、静脈還流を促進する。

## 【使用方法等】

- 形状及び適応サイズの選定
  - つま先ありタイプかつま先なしタイプを選択します。
  - メジャー等で各部位を測定し、全ての部位で規格内に入るサイズを選択します。2つ以上のサイズにまたがる場合は、足首の周囲径が規格の中央値に近いサイズを選択します。

## 2. 着用方法



生地をたぐりよせて、つま先を入れます。足首まで引き上げ、かかとの位置を合わせます。両手の親指を内側に押し、均等にひき上げていきます。かかと位置のスレ、シワやたるみ、ねじれ等がないよう確認してください。

※イラストはサポーターです。ハイソックスも着用手順は同じです。

## 【使用上の注意】

- 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
  - 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止してください。  
[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがあるため。]
  - ギプス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にあった患者は潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため注意してください。
- 重要な基本的注意
  - 正しい圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズを選択してください。また、サイズ適応外の場合には使用しないでください。
  - 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更してください。
  - 本品を折り返して使用しないでください。  
[血行障害や神経障害等を引き起こすおそれがあるため。]
  - 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着してください。装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずり落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなおしてください。  
[適正な圧迫圧が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。]

- 5) 本品の他に圧迫圧のあるストッキング等の重ね履きをしないでください。
- 6) 2枚重ねて使用しないでください。
- 7) 就寝時の着用はお避けください。
- 8) 本品に、破損(ほつれ、破れ等)がないことを確認してから装着してください。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないでください。
- 9) 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損(ほつれ、破れ等)する場合がありますので注意してください。
  - ① 少しずつ引き上げず、強く引っ張り上げての装着
  - ② 爪が伸びていたり、反っていたりする足への装着
  - ③ 肌荒れした手や伸びた指の爪での取り扱い
  - ④ 鋭利なものへの接触
- 10) 本品をはさみで切るなど加工、修理を行わないでください。
- 11) 1日数回、皮膚や爪の色に変化がないか確認してください。また1日1回は必ず、足全体の観察を実施するために履き直しを行ってください。
- 12) 同一の本品を複数の人で着用すると、変形・劣化により適正な圧迫圧が得られないため、お避けください。
- 13) 軟膏などの薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化しますので付着しないよう注意してください。

### 3. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下の有害事象が起こる可能性があります。

#### 1) 重大な有害事象

##### ① 血行障害

チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感等、血行障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。

##### ② 神経障害

腓骨神経麻痺等の神経障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。

##### ③ 皮膚障害

- ・ 本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍等の皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。
- ・ ショック等、末梢循環が不安定な患者に使用した場合、装着部位に血行障害が発生し、壊疽などの皮膚障害が起こる可能性があるため、装着部位の血流に注意してください。

#### 2) その他の有害事象

本品装着部位に発赤、水疱、かゆみ、発疹、かぶれなどの皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もありますので、同様に適切な処置を行ってください。

#### 【保管方法及び有効期間等】

高温・多湿、直射日光の当たる場所を避け、室温で保管してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ファミリー・サービス・エイコー株式会社

住 所：〒380-0901 長野県長野市居町 43-1

電 話：026-259-3101

#### 販売業者の連絡先

#### ※【保守・点検に係る事項】

洗濯は取扱説明書の洗濯表示に従ってください。繊維の劣化を避けるため、高温、消毒剤、乾燥機の使用はおやめください。

取扱説明書を必ずご参照ください。